

報告日 令和5年8月28日
報告回次 1回目

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	横浜市青葉区役所			代表者名	青葉区長 中島 隆雄
担当者部署	総務課			連絡先電話番号	045-978-2212
担当者役職	-	担当者氏名	富澤、酒井、猪野	連絡先E-mail	*****
住所	225-0024 神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町31-4				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

アドバイザー	石塚 清香
評価	よい
上記評価の理由（どのようによからかったか等詳細に）	業務のフロー図を作成し、課題点を把握するところから助言をいただいたが、今後その他の事務改善にも活かすことができる内容だと感じた。 また、当該事務の内容を踏まえた上、初回から試行可能な内容を複数ご提案をいただくことができ、スムーズに検証を行えることが見込まれる。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年8月16日	支援・助言(実地)	有	令和5年8月23日	868
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年8月24日	事前打合せ（オンライン）	13時00分	14時30分	
				活動時間（分）	90
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	自動車臨時運行許可申請の事務について、申請の受付、審査、許可、有効期間満了後の未返却番号標の督促、失効、実費弁償費用請求、債権管理等を並行して行っている。 進捗管理を主に紙で行っているため、全体の進捗管理が煩雑になってしまう点に課題がある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	デジタル技術を活用し、自動車臨時運行許可事務における進捗管理の効率化を図りたい。具体的に導入が考えられるシステムや、その他効率化を行うために考えられる方法について、ご提案いただきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・業務フロー図の作成を行うことで、課題点を把握できる。 ・緊急時伝達システムを活用し、自動音声による督促を行うことで、一度に大量の架電をすることが可能。 ・進捗管理にはキントーンの活用も想定される。 エクセル等と比較し、データ削除のリスクが低い。また、全体の進捗管理にも使用が可能。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	上記について、今後検証予定。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回助言をいただいた内容を今後検証予定。 また、次回は業務フロー図を作成方法を教えていただきながら、課題点を具体的に把握していく。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートの実施なし
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	デジタル技術を活用した自動車臨時運行許可事務の進捗管理の効率化

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



